

事業所名		放課後等デイサービスエポック				支援プログラム（参考様式）		作成日		2024 年		6 月		13 日	
法人（事業所）理念		一人ひとりの個性を尊重し、関わる方全てに自由で豊かな生活を。													
支援方針		集団での過ごし方や日常生活で必要なスキル、社会性を様々な活動を通して学んでいきます。 毎日を楽しむ過ごせる場所ということは前提として、その中で守らなくてはいけないルールや、してはいけないこと、自分だけでなく周りのことを考える協調性を育んでいけるよう支援します。 「今」という時間も、もちろん大切ですが、「未来」へ繋がる経験や挑戦を一緒にしていき、子どもたちの可能性の幅を広げていける施設にしていきたいと思いのもと支援を行います。 たくさんの経験をしていく中で「みんなと同じように」ではなく、一人ひとりが一人ひとりの個性を受け入れながら「みんなと一緒に」歩んでいきます。													
営業時間		平日：10時00分から19時00分まで 学校休校日：8時30分から17時30分まで						送迎実施の有無		あり					
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	①毎日の検温：手洗い等を実施し、ひとりひとりの健康状態を把握していきます。 ②運動しながら体を育て、健康で安全な生活出来るように支援を行います。健康状態の確認等、必要な対応を行う際には、意思表示が難しい子どもの障害の特性や発達過程・特性を考慮し、小さなサインから心身の異変に気づけるよう、細やかな観察を行います。 ③健康の増進：睡眠、食事、排泄など基本的な生活のリズムを身に付けられるよう支援します。また、健康な生活の基本となる食事を育て、食事形態や口内機能、感覚などに配慮しながら、楽しく食事ができる環境を整えます。さらに、病気の予防や安全にも配慮していきます。 ④日常生活や社会生活を充実させるために、それぞれの子どもに適した身体的、精神的、社会的な訓練を行います。 ⑤基本的な生活スタイルの獲得：清潔な食の取り方や食器、衣服の着用、排泄などの基本的な生活技能を養育できるよう支援します。 ⑥さまざまな遊びを通して学習できるよう、生活環境を整えます。また、障害の特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすく構造化し、見通しを持って取り組める工夫をしています。													
	運動・感覚	①様々な活動内容を用いて機軸運動・粗大運動の両方を支援できる環境を整えています。 ②野外活動、室内運動を通して、能力の維持・強化を図ります。 ③動作活動や知育玩具を用いながら、感覚の認知形成を行います。 ④日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善・習得、能力の維持・強化を図ります。 ⑤視覚、聴覚、触覚などの感覚を十分に活用しながら、視覚、聴覚なども用いる五感全てを感じられるよう、遊びなどを通して支援します。													
	認知・行動	①毎日の目付・曜日・スケジュールを視覚でわかるように掲示し、概念の習得を図ります。 ②感覚や認知の活用：聴覚、触覚、視覚などの感覚を活用して、必要な情報を収集し、認知機能の発達を促します。 ③課題活動を通じてその時々に応じた行動を導き進めようとして支援します。 ④視覚から行動への認知過程の発達理解から情報を取得し、選択し、行動につなげる認知過程の発達を支援します。 ⑤認知や行動の手帳からいよなる概念の形成、物の機能や属性、色、形、音の認知する様子、空間・時間などの概念の形成を通じて、認知や行動の手がかりとして活用できるよう支援します。 ⑥認知の偏りへの対応：認知の特性を踏まえ、情報処理や認知の偏りに対処し、個々の特性に合った支援を行います。また、こだわりや偏狭などにも対応します。 ⑦行動障害への予防及び対応：感覚や認知の特性から生じる行動障害の予防や適切な対応を支援します。													
	言語コミュニケーション	①親いでのつや会話など、円滑なコミュニケーションを行う事ができるよう支援します。 ②聴覚利用法の活動を通して言語の形成と活用：興味のある事物や経験と言葉の関係を結び付け、体系的な言語の習得や自発的な発声を促進します。 ③絵し言葉や文字・記号などを用いて、相手の意思を理解したり、自分の考えを伝えたりする能力を支援します。 ④様々な状況での相互作用を通じて、共同注意などのコミュニケーション能力の向上を支援します。 ⑤図鑑しや身振り、サインなどを用いて、単語の理解や意思の伝達を支援します。 ⑥文字や記号、絵カードなどのコミュニケーション手段を適切に活用し、環境の理解や意思の伝達を支援します。													
	人間関係社会性	①友達や仲間との活動を通して、自己理解・他者理解を促します。 ②友との関係を築き、信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行います。 ③遊びを通して仲間と行動を促し、社会的や人間関係の発達を支援します。 ④発達運動遊びから表徴遊びへの支援：感覚運動や象徴遊びを通して社会性の発達を支援します。 ⑤外出活動を通じて公共の場に必要な社会性、ルールやマナーに関する知識を身に付けていけるよう支援します。 ⑥仲間遊びから仲間遊びへの移行を促し、社会性の発達を支援します。 ⑦自己の行動や感情を理解し、コントロールできるよう支援します。													
家族支援		①家族が安心して子育てを行うことができるよう、さまざまな家族の負担を軽減していくために物理的、心理的支援を行なう。						移行支援		全ての子どもが共に成長できるよう、可能な限り、地域の施設、教育等の支援を受けられるようにし、かつ同年代の子どもの仲間づくりを図る支援をする。					
地域支援・地域連携		適切な支援を受けられるよう、関係機関と連携し、地域・関係機関と関わり方や統一した支援の共有、支援力を高めるためのネットワークを構築する。						職員の質の向上		支援に関わる人材の知識・技術を高めるため、様々な研修を実施し、知識・技術の取得意欲を喚起・向上を行う。					
主な行事等		・季節のイベント（クリスマス会、節分、お花見、海水浴、夏祭り、卒業等） ・保護者会													